07-118-0403

# アルフェック
# エルズミア570T
# 取扱説明書

ARFEQ ELLSMERE570T OWNER'S MANUAL

ARFEQ™
PRODUCED BY mont·bell

# ARFEQ『 ELLSMERE570T』
# ご利用の皆様へ

●この度は、ARFEQ『エルズミア』をお買上げ頂き、誠にありがとうございました。

『エルズミア』は、抜群の安定性と操作性、高い巡航スピード、十分な積載量の全てを兼ね備えた、世界でも類を見ない超軽量・コンパクトかつ丈夫なスキン・シーカヤックです。沿岸や大河川での本格的なツーリングに最適で、目的に応じて別売の専用ラダーやコーミングカバー等を装着することが可能です。エルズミア570Tはタンデム専用として設計されています。

『エルズミア』をご使用になる前に必ずこのマニュアル、セーフティーカヌーイングブック等をご覧になり、注意事項等内容を十分に理解してください。また、遊ぶ場所での天候・水温など、自然環境の変化に十分注意し、ファルトボートを安全に楽しんでください。

当製品は、（株）モンベル　が開発・製造する国産品です。製造にあたっては、万全の注意を払っておりますが、万一、欠品、具合の悪い点等がございましたら、お買上げ頂いた販売代理店、もしくは当社までご連絡下さるようお願いいたします。

## ご使用前に　下記の点についてご注意ください。

○ファルトボートに乗るときは安全を心がけ、必ずライフジャケットを正しく着用してください。ヘルメットは携帯し、沈（横転）したときなどに岩等で頭をぶつける危険性のある場所では必ず着用してください。また、機材には必ず名前・連絡先を書いておいてください。

○このファルトボートは、水深が30cmもあれば漕行可能です。しかしながら、大岩がたくさん露出しているような所や波の荒い磯での使用には適しません。その様な所では使用しないでください。

○このファルトボートは、アルミを主としたフレームと生地で作られています。底がついてしまうような浅瀬、及び操作しきれずに岩等に激突するような場所では破損の原因となり危険です。また、沿岸では、潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖・大河・沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いよらぬ突風・強風が吹く場合があります。人力にたよっているファルトボートの特性をよく理解し、無理せず正しくお使いください。

○このファルトボートは、シーカヤック専用として設計されていますが、流れの穏やかな河川の下流域や、湖等では同様に使用できます。
　また、海水で使用した後に、きちんとしたメンテナンスをおこなわないと塩が結晶化して接着剤を付けたようになり、ジョイント部分等がまれに機能しなくなる場合（動かない・外れない等）がありますので、使用前に、ジョイント部分・可動部分にあらかじめ防塵潤滑油等をスプレーし、コーティング処理をしてからご使用ください。使用後は、特にジョイント部分・可動部分を十分水洗い（一晩水の中につけおきして塩抜き）し、からぶきをしてから乾燥し収納してください。
アルミの腐食につきましては、耐触性アルミにさらにアルマイト加工をし、非常に腐蝕しにくい材料を使用しておりますので、メンテナンスを正しくおこなうことで淡水での使用に近い寿命でご利用いただけます。

○ファルトボートに荷物を積む場合は、艇の安定・操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。一般的に、静水時に、デッキに水がかぶるほど積載するのは危険ですので注意してください。重い物はデッキの上に積まないようにしてください。

○セールの汚れ等は、フィールドではマイクロファイバー素材のクリーニングクロス等を使用することで、洗剤なしで泥や油汚れなどもふき取ることが可能です。また、洗剤を使用する場合は中性洗剤を薄めた溶液（10%溶液）を使用し、スポンジ等やわらかいもので落とします。（シンナー等は絶対に使用しないでください。）最後に真水を使ってきれいに洗い流してください。

○艇内に水がたくさん入ってしまった場合は、水の重さでそのまま持ち上げるとフレームがこわれる恐れがあります。片面を水面または地面に置き、少しずつ傾けながら水を必ず外に出してから持ってください。艇内に重量物が入った状態で持ち上げるとフレームに異常な力がかかる場合がありますので、同様にご注意ください。

○ファスナーの開閉は無理をせず正しくゆっくりとおこなってください。特にエアチューブの圧力が高い状態で閉めようとすると、ファスナーを壊す場合がありますので十分にご注意ください。

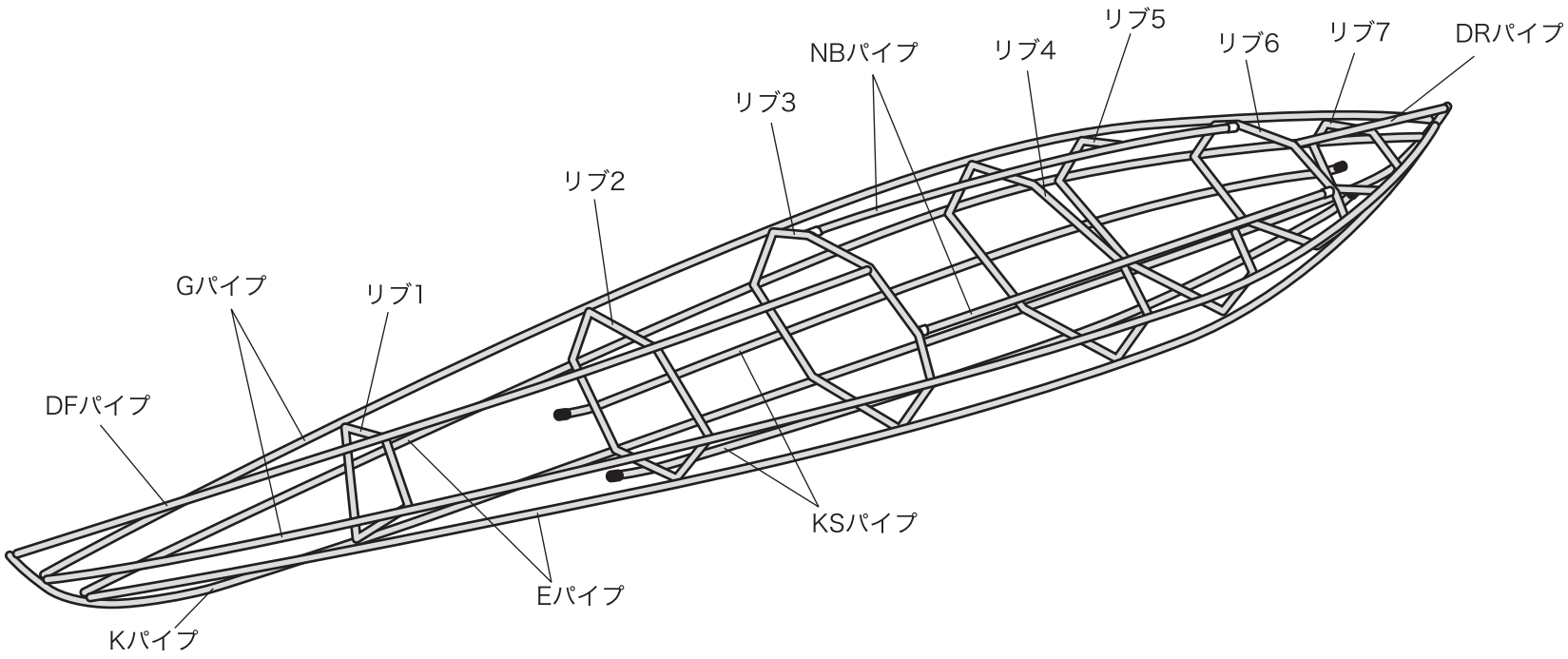
○テンションシステム（船体布を引っ張る機構）の使用方法をよく理解してから、テンションを正しくかけてください。間違えますと破損の原因になります。また、フレームパイプのジョイント部分が伸びていたり、正しく組み立てられない状態でテンションをかけると各部が破損する場合があります。注意してください。

○エアチューブに空気を入れすぎないようにご注意ください。空気を入れすぎると、エアチューブポケットに入り込んだ石のかけら等でパンクの原因となる場合がありますのでご注意ください。

○このレジャーボートは、柔剛構造フレームでデザインされています。艇全体は、漕行時に十分な強度がとれるように設計されると同時に、セール、フレームが人間の身体のように、多少柔軟性を持って、衝撃を吸収し、こわれにくく出来ています。しかしながら、パイプ・生地に集中的に力がかかるような使い方は破損の原因となりますのでご注意ください。

○このファルトボートのセールで、一番ダメージを受けやすい部分はコックピット下部センターの前後30cmくらいです。あらかじめ、K・Eパイプ部分のセール補強部分に、ガードテープ（別売品／プロテクション1）等をはることで、セール本体を傷つきにくくできます。その他、セールとフレームの間に、別売のボトムシート等のクッションシートをはさんで使用するのも効果的です。また、別売のプロテクション2（1mm厚PVC）をKパイプとセールの間にはさんだり、クロスリブ下面に3枚程（パイプ幅にカットして3mm厚）重ねてはっておくと穴が空きにくくなります。この際、テンションシステムのテンションのかけすぎには十分にご注意ください。

## エルズミア570Tフレーム名称



# エルズミア570T セットアップ

## 1、パーツ類のチェック

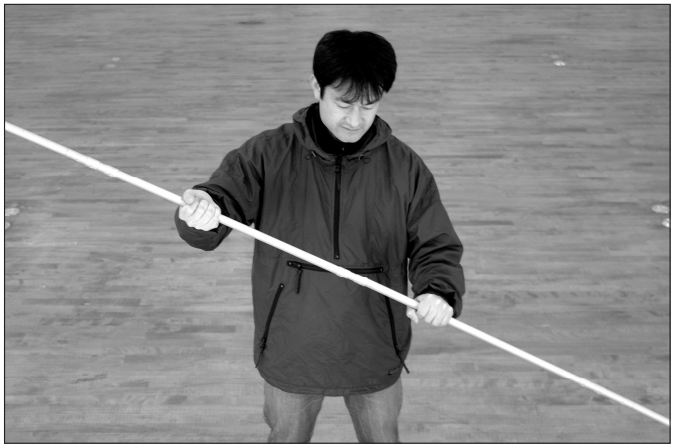
キャリングケースの中から各パーツを取り出し不足がないことを確認してください。

**エルズミア570T セット内容**

- フレームパイプ（K×1、G×2、E×2、KS×2、NB×2、DF×1、DR×1）
- クロスリブ（1～7）
- セール×1
- シート×2
- フットブレイス×2
- スリックロック×12
- キャリングパック×1
- フレームケース×1
- エアポンプ×1
- リペアセット×1
- 取扱説明書×1
- オーナー登録カード×1
- ラダーセット

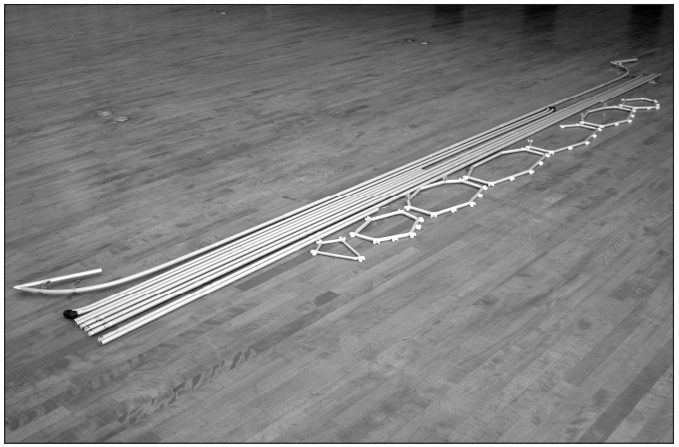
## 2、フレームの組み立て

### （1）各パイプをつなぐ



パイプは水平の状態が一番つなぎにくいので（外すときも同様）、必ず斜めにしておこなってください。

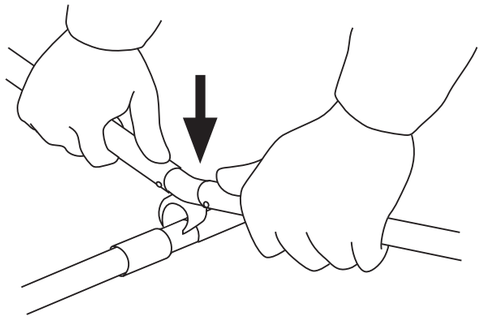
### （2）各パイプを並べる

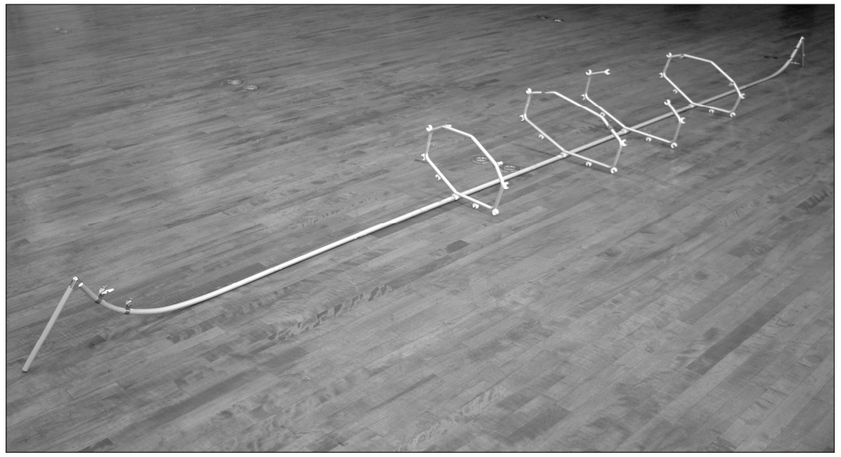


＜注意＞各パイプの名称ラベルが付いている方が前。これを間違えると組めないので注意。

## (3) Kパイプにコックピット部のリブを取り付ける

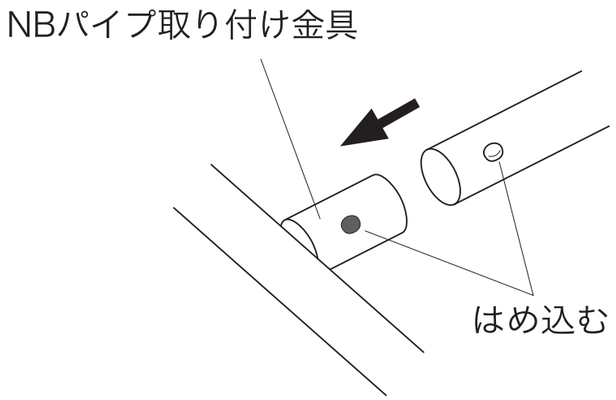
Kパイプの各リブ取り付け溝にあるステッカーとリブにあるステッカーのナンバー、向きを合わせてください。

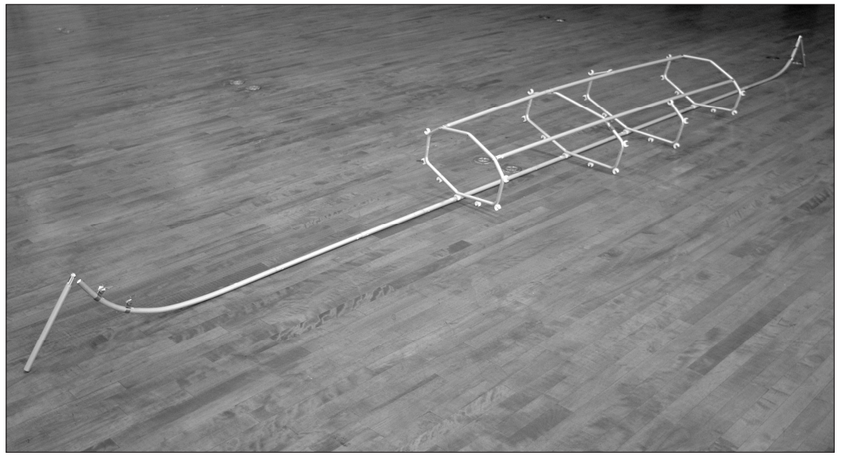




Kパイプの各リブの取り付け溝に、リブ3〜6をステッカーの向きを合わせて図のように立てます。
（NBパイプ取り付け金具が内側向きになるように取り付けます。）
なお、他のリブに関してはこの時点ではまだ取り付けません。

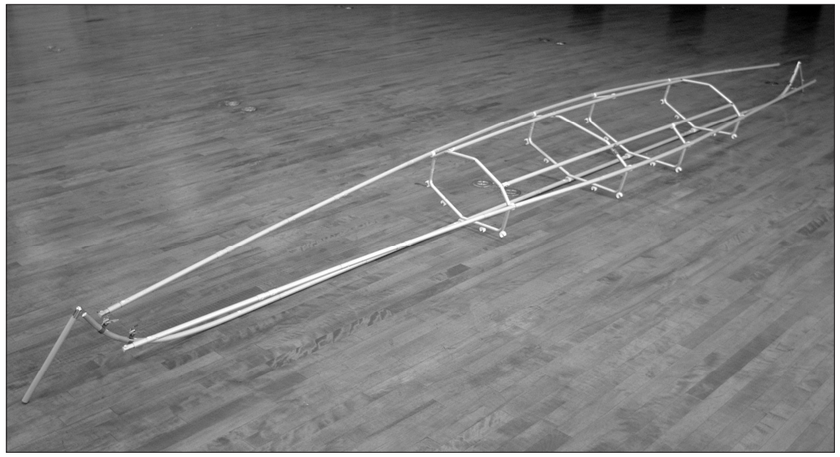
## (4) NBパイプの取り付け



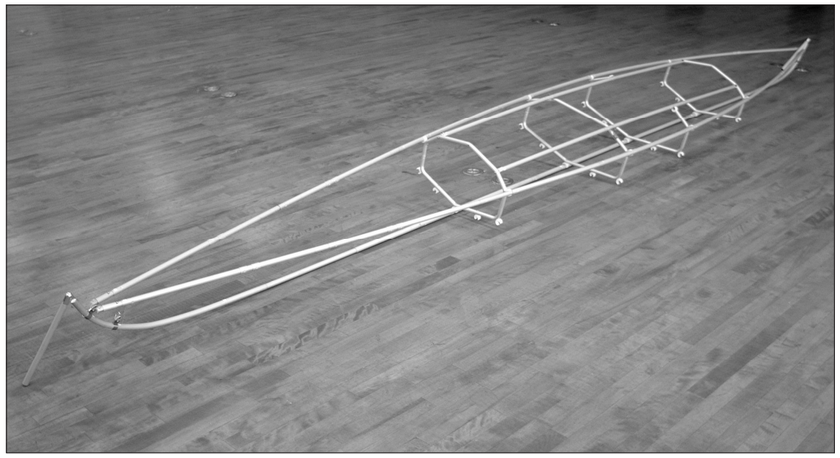



リブ3・6に図のようにNBパイプを取り付けます。NBパイプ取り付け金具にジョイントピンで固定してください。
リブ5へは、まだ取り付けないでください。

## (5)　Gパイプの取り付け

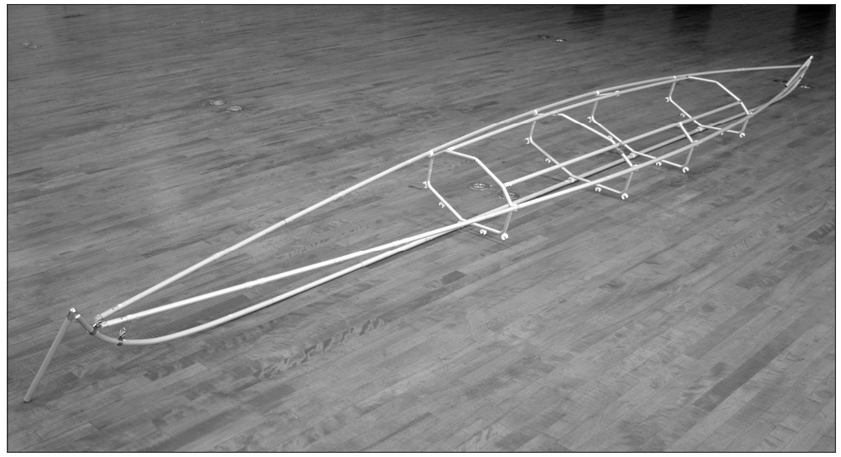


Gパイプの前後を間違えないように注意し、ストッパー（節のような所）にリブ4・5のチャンネル（三日月型のパーツ）を取り付けます。（各ストッパーの溝の位置はGパイプの前後をKパイプにあわせると確認できます。）
リブ3・6も同様に取り付けてください。



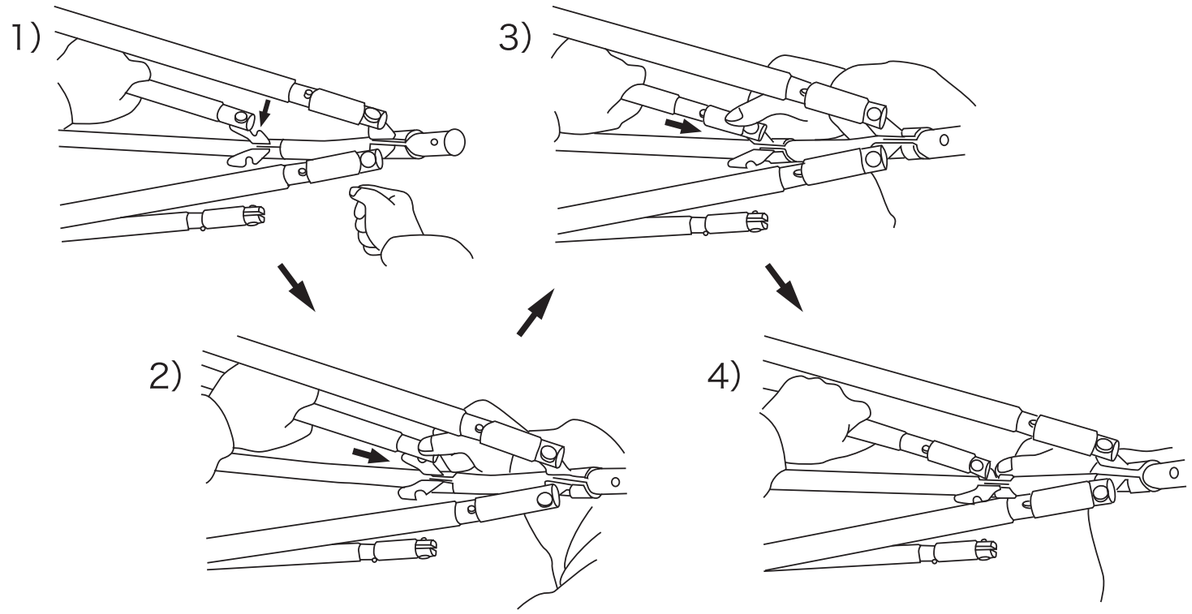
Kパイプの前後にある外側のAタング（虫の翼のような金具）にGパイプ両端を取り付けます。
膝の上にKパイプをのせて、適度な反りがついた状態でおこないます。一方の手でGパイプを引き寄せ、もう一方の手で金具の傾き調整、スライド操作をおこなってください。
＜注意＞Kパイプが地面にぴったり付いた反りがつかない状態で組むと、設計上Gパイプの長さが足りなくなるため接続部分を途中で伸ばす原因となり、組上がり時の全長が長くなる可能性があります。ジョイント部、取り付け部がずれていればKパイプを上下させて合わせます。Aタングの角度が合っていなければAタングを動かして修正してください。

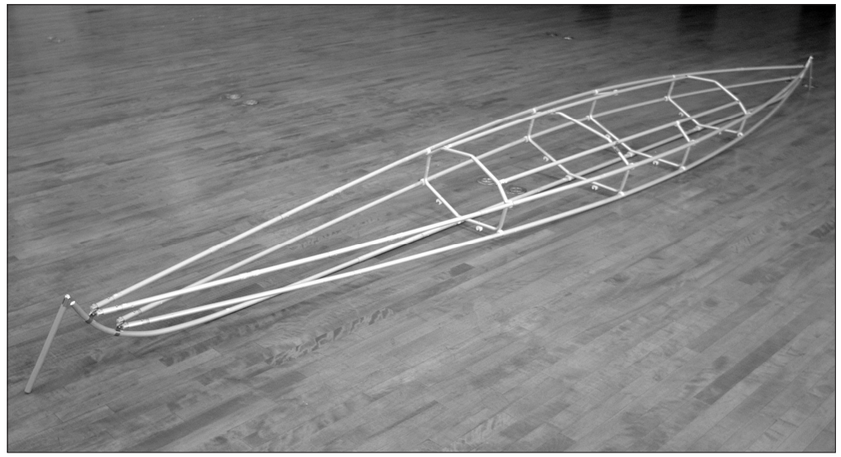
（6）NBパイプの取り付け



リブ5端のチャンネルにNBパイプを取り付けます。この時、リブ4のNBパイプ固定金具の内側にNBパイプがくるようをセットして下さい。

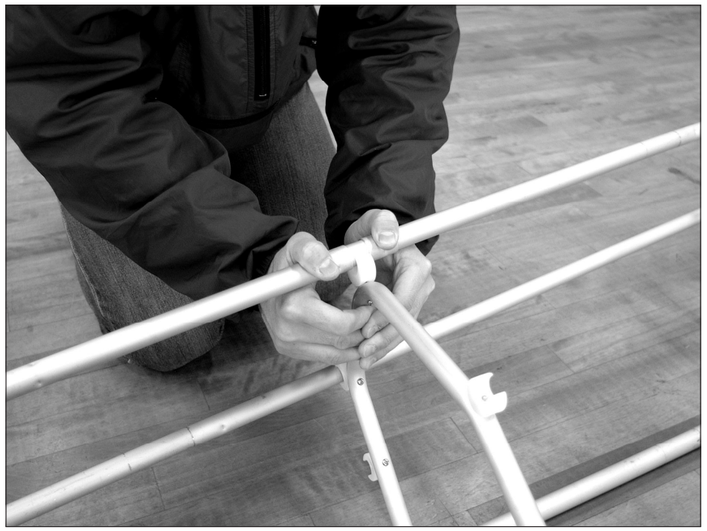
（7）Eパイプの取り付け

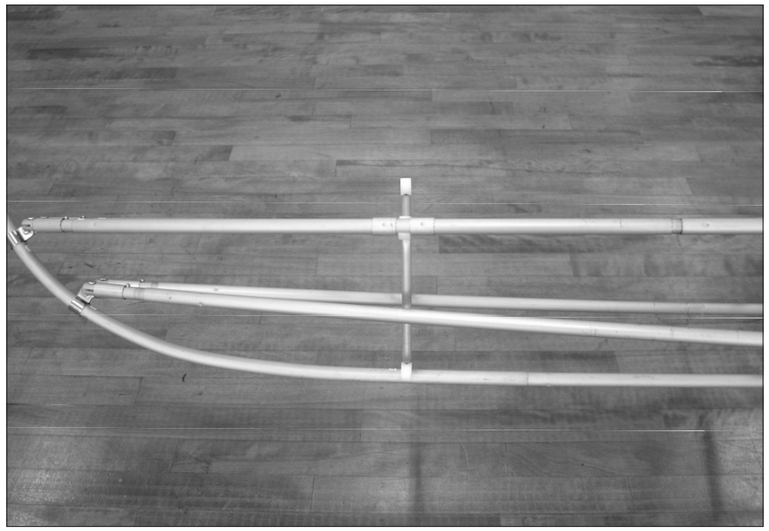


Gパイプと同様にEパイプを取り付けます。取り付け位置はKパイプと並べて確認してください。※Eパイプの両端はGパイプとは違いのびるようになっています。

## (8) 残りのリブの取り付け

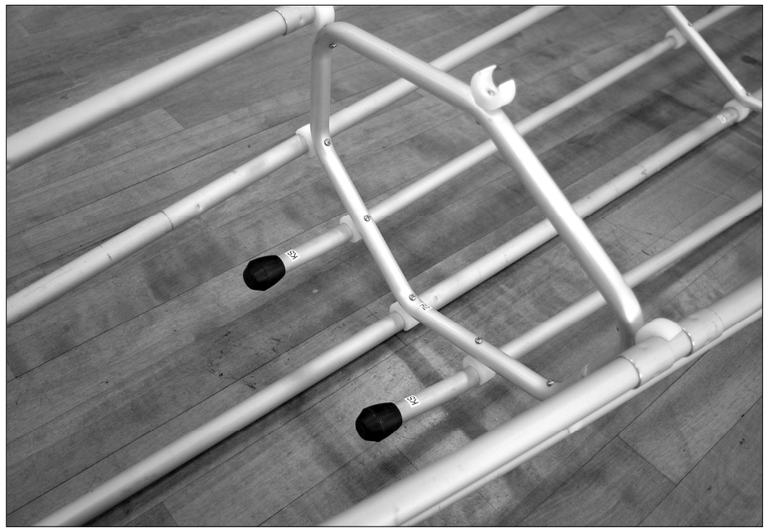


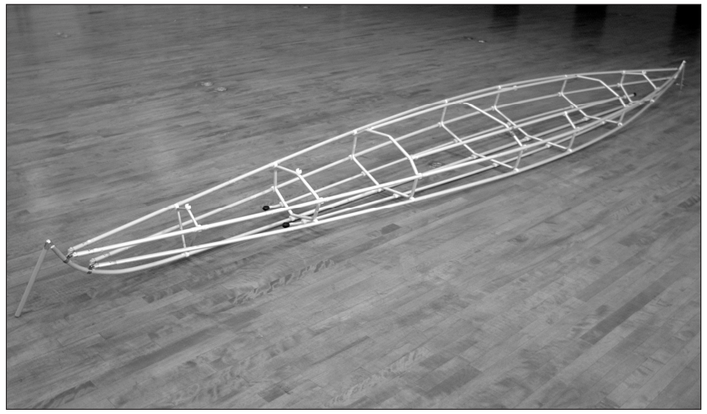


リブ1はGパイプとほぼ直角になる位置でKパイプに取り付けて下さい。

リブ2・7をGパイプの各リブ取り付け溝（Kパイプのステッカー『2』『7』と同位置にある）へそれぞれ取り付け、そのままKパイプのリブ取り付け溝へ取り付けます。次に、Eパイプをリブ2・7へ取り付けます。その後、リブ1をGパイプのリブ1取り付け溝へ取り付け、リブがGパイプとほぼ直角になるようにKパイプへ取り付けます。

（9）KSパイプの取り付け



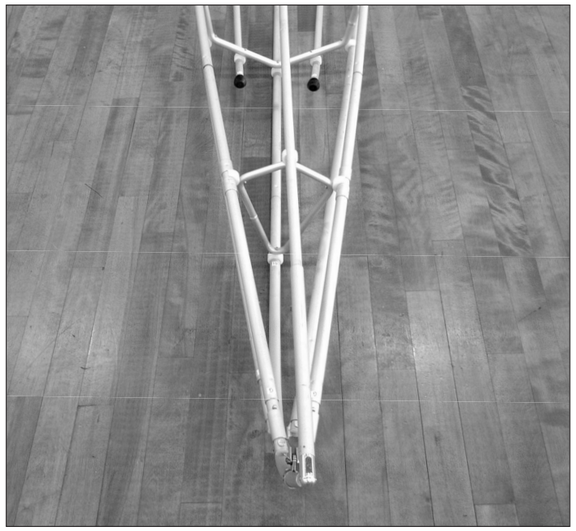


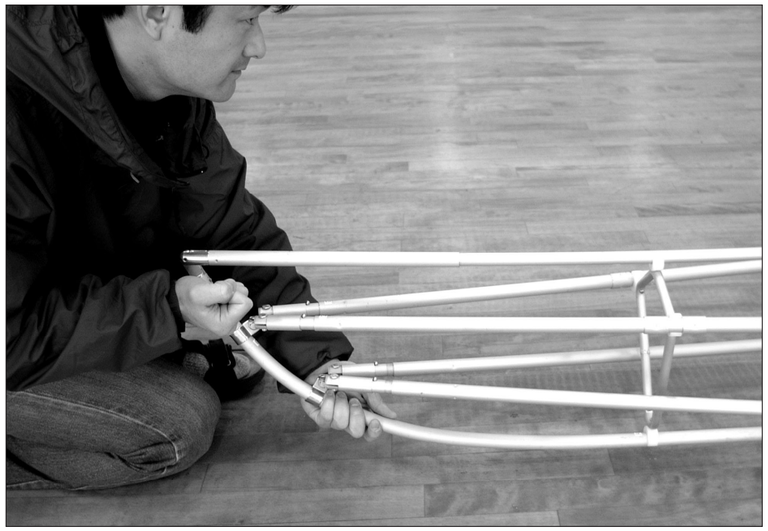
上図のように、リブ2のチャンネル（三日月型の部品）へKSパイプの直線部分の始まりを取り付けます。この時、曲がっている方（ゴムキャップ）が艇の内側を向くように注意してください。そのまま他のリブへ取り付けます。KSパイプの後端はも同様に曲がっている方が内側を向くように取り付けて下さい。

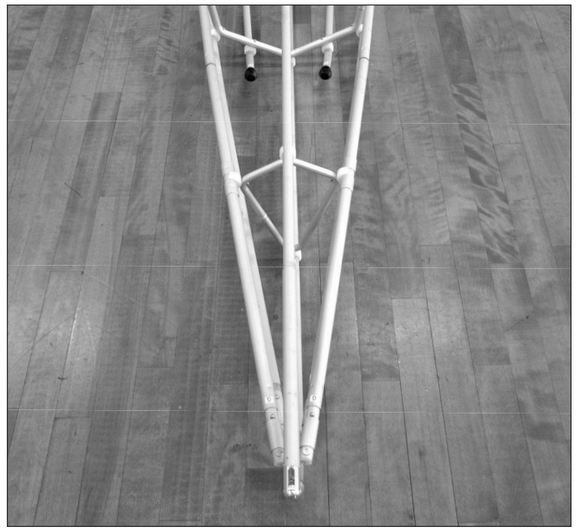
（10）DFパイプの取り付け

Kパイプ先端の可動パーツ（TB-Fパイプ）にDFパイプのピンの無い方を差し込み、リブ3上部の穴にDFパイプの先端ピンを奥まで差し込みます。
次に、DFパイプの途中の、パイプが二重になっている部分がリブ2とリブ3の間になるように、DFパイプを他のリブに取り付けます

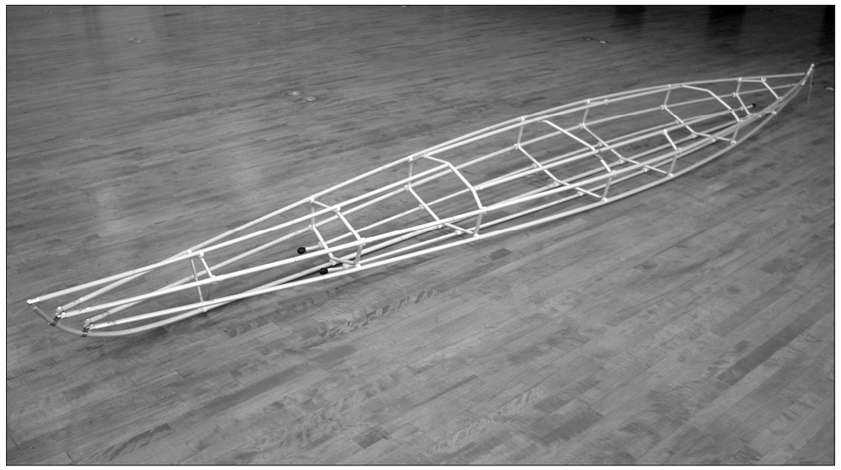
（11）フレームのゆがみの修正.





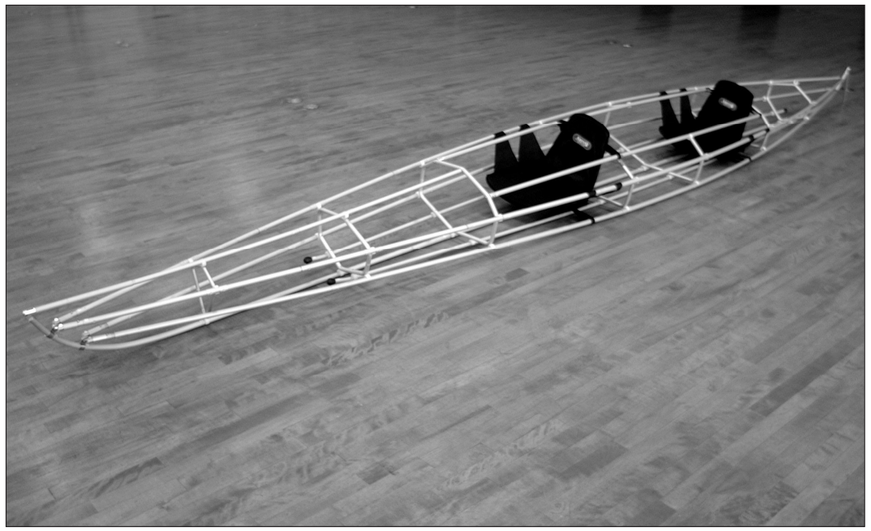


真上から見てDFパイプとKパイプが一直線上になければ、先端が左右どちらかに倒れていますので、軽くたたいて修正してください。



（12）シートを取り付ける

1.シートの取り付け位置



前席･･･リブ3とリブ4の間
後席･･･リブ5とリブ6の間

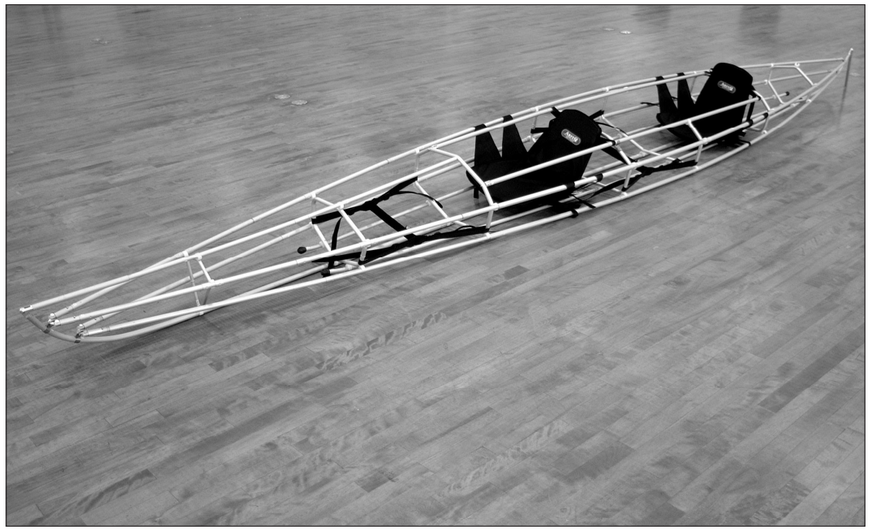
2.シートの取り付け方法

座面横の各3本のテープのうち、両端の2本のテープはGパイプへ、中央のテープはEパイプへそれぞれ仮止めしておきます。次に、背面の二重になっているテープの後側にあるテープをNBパイプへ取り付けます。
＜注意＞背面の前面のテープは船体布をセットした後に取り付けます。

（13）フットブレイスの取り付け

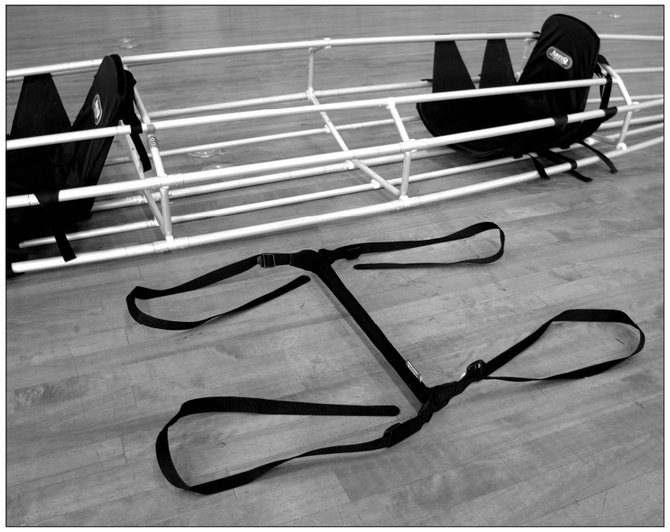
1.フットブレイスの取り付け位置

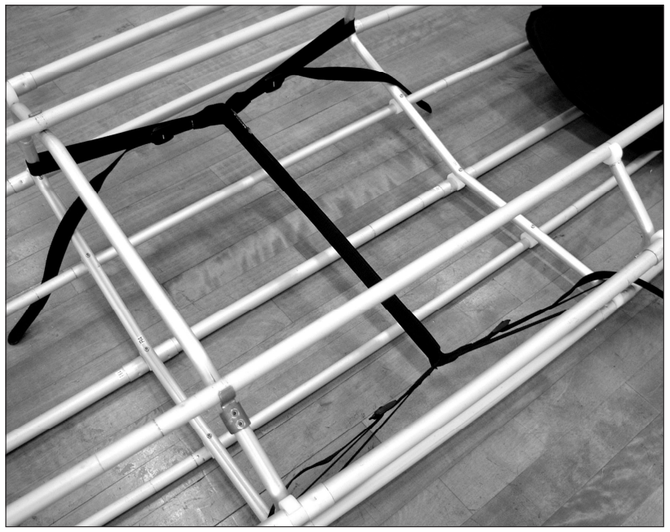
※570Tの場合



長い方･･･リブ4とリブ5の間
短い方･･･リブ2とリブ3の間

2.フットブレイスの取り付け方法





上図のようにリブとリブを内側から引くように取り付けます。
この時、実際にシートに座り、シート・フットブレイス共に自分の姿勢の一番合う位置へ前後・高さを調節し、固定してください。

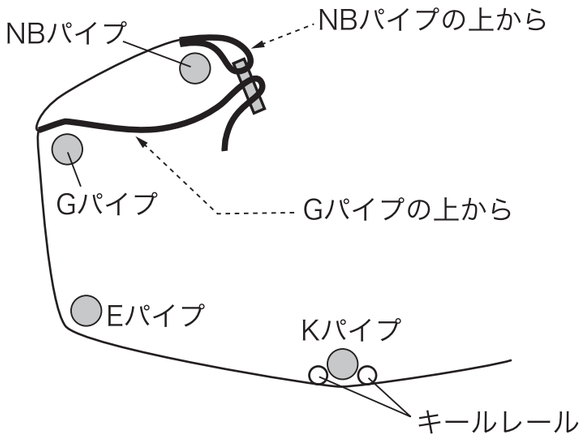
## （14）セールにフレームを入れる

セールを広げ、フレーム前後を間違わないように注意しながらセールに入れます。必ずこれ以上入らないという所までしっかり押し込んでください。この時、キールレール(ボトム内側の中央にある溝)にKパイプを合わせて、センターがずれないように注意してください。

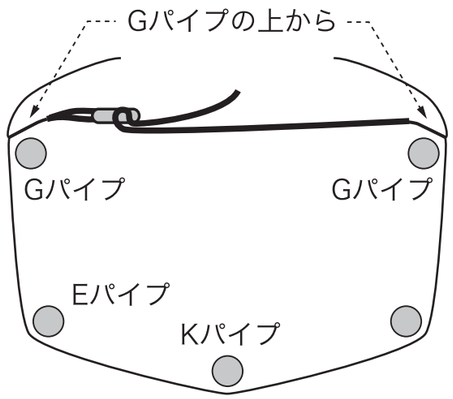
※エアチューブのホースがパイプに挟み込まれないように注意してください。

## （15）コーミングベルトをセットする（仮止め）

【コーミング断面図】




【リアデッキ断面図】

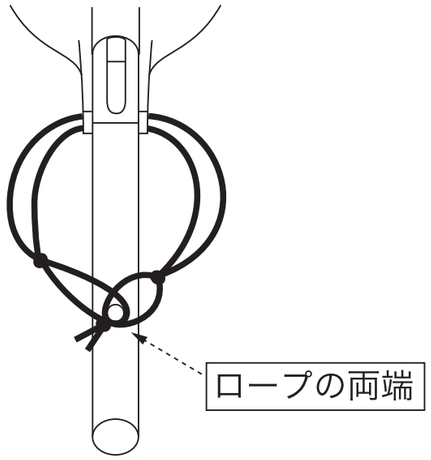



コーミングの横・内側にあるコーミングベルトを仮止めします。下側のバックルのないベルトをGパイプの上へ引き上げ、上側のバックルの付いたベルトをNBパイプの上から巻き込み上下のベルトをテンションを掛けないように軽くとめます。（断面図参照）

リアのデッキ内側のファスナーバックアップベルトを仮止めします（2箇所）。コーミングベルトと同様に三角布をGパイプの上に引き上げ左右のベルトを軽くとめます。

（16）セールにテンションを掛ける
（無理をせずテンションの掛けすぎに十分注意しておこなってください。）

1、仮テンションを掛ける

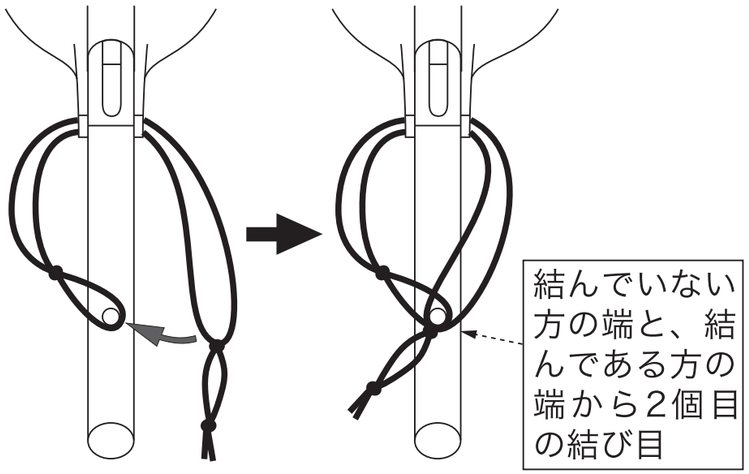


Kパイプ後端の可動パーツ（TB-R）のテンションフック（裏側のボルト）へセール後部のテンションロープの両端をTB-Rの両側から掛けます。

上図のようにテンションロープの左右を一度軽く引きます。

そのままゆっくりとTB-Rパイプを起こしていきます。この時、Kパイプがセールのセンターと合うように調整しながらTB-Rパイプを水平になるくらいまで倒します。

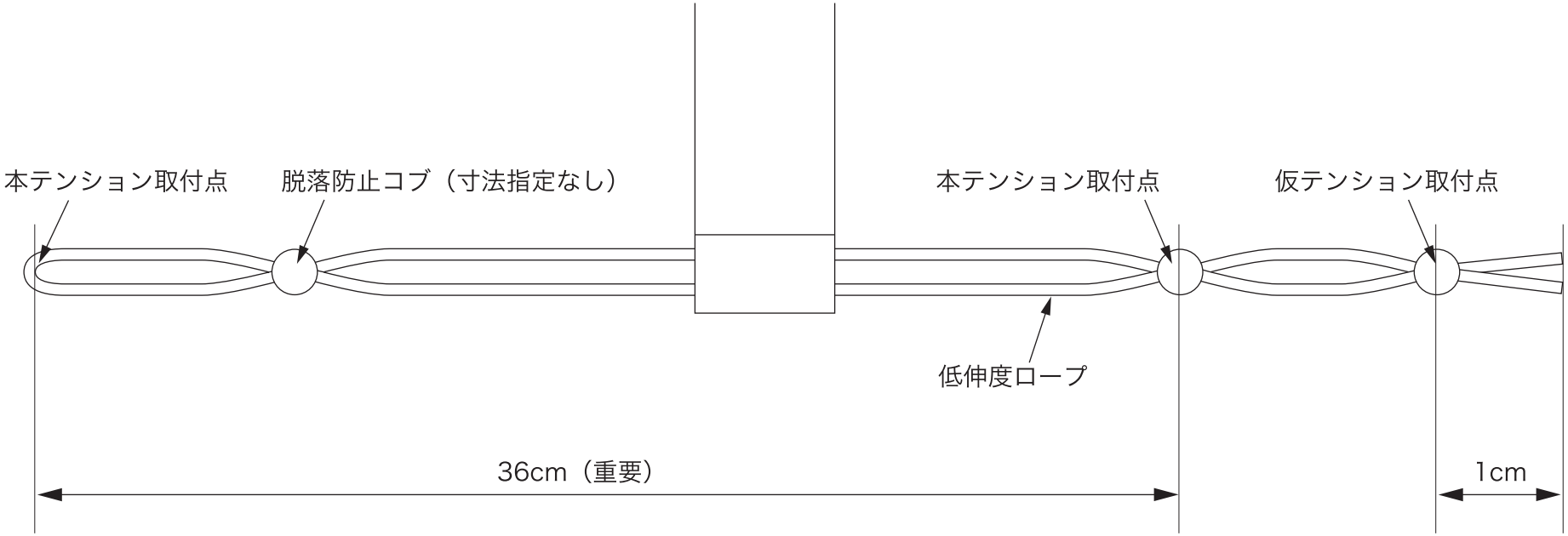
2、テンションを掛ける



テンションロープを必ず上図のように掛け直し、TB-Rをゆっくりと起こします。次にTB-RパイプにDRパイプを取り付けます。DRパイプをTB-Rパイプの一番奥まで差し込んだ状態でDRパイプを倒してください。
＜注意＞TB-Rパイプへロープを掛け、テンションを掛けた状態でTB-Rパイプから手を離すと急激に戻り危険ですので必ず手を添えてください。

## テンションロープの基本寸法

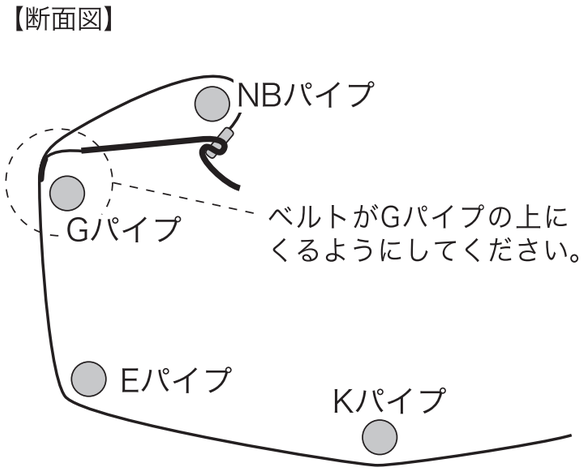
セットアップ時にファスナーがセール後端部で動かなくなる原因のほとんどは、テンションテープの基本寸法が伸びてしまうことが原因です。時々基本寸法を確認してください。



（17）DRパイプを固定し、セールを引き上げる

DRパイプ先端のピンをリブ6の頂点の穴へ差し込み、ジョイントピンで固定します。次に、DRパイプをリブ7へ取り付けます

（18）コーミングベルト・バックアップベルトを締め、ファスナーを閉じる



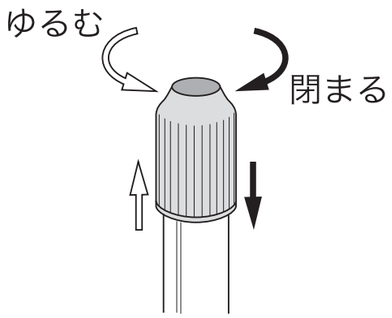
コーミングベルト（計8本）がGパイプの上になっている事を確認し左右均等に締めます。（断面図参照）
リアデッキのファスナーバックアップベルトを締めてからファスナーを閉じます。

（19）防水カバーのセット

ファスナーの端の部分を折り込みます。次に、左右2枚の防水カバーの生地を重ねて、角を内側に折り込みます。

防水カバーの口部分のナイロンテープを芯にするようにしてマジックテープの付いている面が上を向くまでカバーを巻き込み、もう一方のフラップのマジックテープと合わせるようにセットします。次に、グラブループ、スタンエンドカバーをセットしてください。

（20）シートを固定し、エアーを入れる

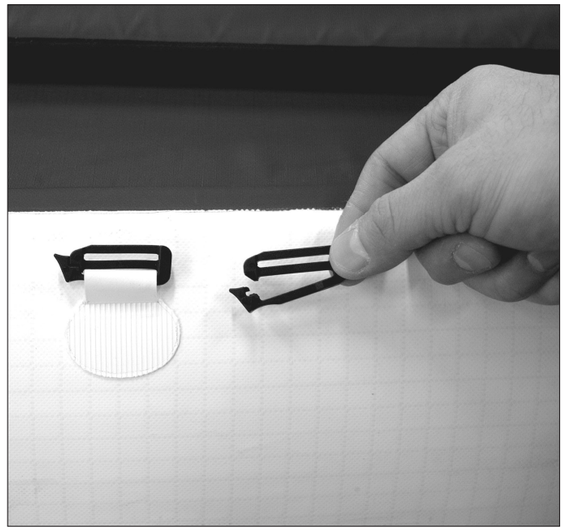



バルブをゆるめて空気を入れ空気が入った時点でバルブをしめます。

背面の前側のテープをコーミング内側のバックルへ取り付け、テープの張り具合で傾斜を調整します。エアーホースの先端にあるバルブをゆるめ、エアーポンプのホースにしっかりと差し込み、エアーを入れます。

＜注意＞空気を入れすぎると、エアチューブポケットに入り込んだ石のかけら等によりパンクするおそれがあります。また、気温の状態等により空気が膨張することがありますので、空気の入れすぎには十分にご注意ください。

（21）完成



スリックロックは、デッキロープ、ベルト等を通す際に使います。必要に応じて取り付けてください。

最後にテープのゆるみ、左右のバランス等をチェックし、問題がなければ完成です。

## エルズミア570T の分解

（1）エアホース先端のバルブを緩め、エアチューブ内のエアーを抜き、ある程度抜けた時点でコーミングベルトを外します。

（2）防水カバー、ファスナーを開きます。次にDRパイプ先端のジョイントピンを押してリブからピンを抜き、DRパイプをTB-Rパイプから外し、そのままゆっくりとTB-Rパイプを後へ完全に戻してテンションロープをボルトから外します。

（3）セールからフレームをゆっくりと抜き、シートとフットブレイスを外します。次に、フレームをセットアップとは逆の手順で折りたたみフレームケースへ収納します。

《注意》フレームを端から折りたたむと中のゴムが均等な伸びにならないので、中央付近の継ぎ目から折りたたむようにしてください。

### セールのたたみ方

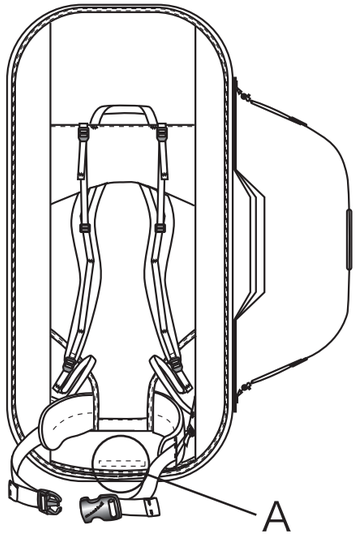
次に縦方向に二つ折りします。コーミングが折れ曲がらないよう注意してください。

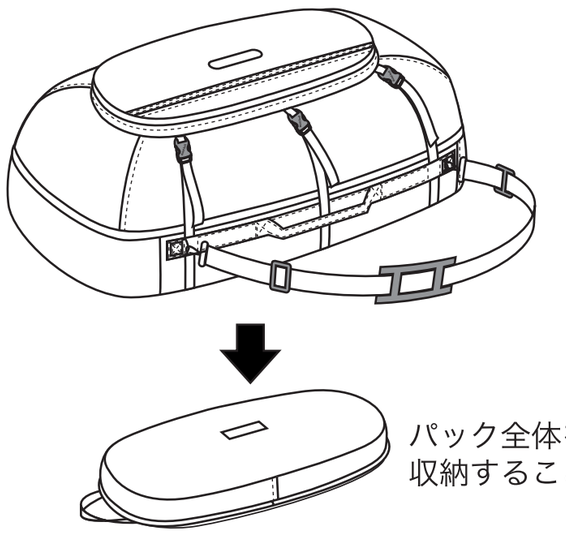
## 収納

1）

2）

3）



パック全体をアウトポケットに
収納することができます。

●まず、セールを入れてその後フレームセット・小物類をパックに収納し、内側のストラップで固定します。※（バックパックとして使用する際、セールがパックのフレームとなりますので必ずセールから収納してください。パック背面のサイズに合わせてセールをたたむと安定して背負いやすくなります。）
次に、内容量に応じてコンプレッション･ストラップを締めて荷物の揺れを抑えます。
●背面のファスナーを開け、背面システムを取り出せばバックパックとして使うことができます。この時、背面システムを被っていたシートは折りたたんで背面パネル下部のポケット（上図のA）に収納してください。
●カヤックに積み込む際には前面のポケットにパック全体を収納すればコンパクトになります。

## 修理及びパーツリストにつきまして

●修理及びパーツ、その他に関するお問い合わせ全て（見積もり・納期・クレーム等）につきまして、下記、又は弊社ディーラー迄お願い致します。また、パーツのご依頼の際は、必ず艇の商品名・製造番号、パーツナンバー・パーツ品名をご連絡下さい

（株）モンベル
本社 / 〒550-0013
大阪市西区新町1-33-20　TEL.06-6531-4761　FAX.06-6531-4969
東京営業所 / 〒150-0012
東京都渋谷区広尾1-15-3　TEL.03-3445-5401　FAX.03-3445-5415
○商品関するお問い合わせは
コンシューマ・サービスまで　TEL.06-6536-5740　フリーコール　0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.com

●修理依頼品の送り先は、下記のとおりです。必ず、巻末の修理依頼書の仕様でご記入頂き、修理品とともにお送り下さい。

※修理品は、清掃してからお送り下さい。清掃の必要がある場合は、クリーニング料が別途必要となり、納期もかかりますので、予めご了承下さい。

【修理依頼品送り先】

（株）北陸モンベル　飯山工場
〒389-2418　長野県飯山市大字寿字西長峰73-1　TEL.0269-62-3367

●修理及びパーツの依頼につきましては、一週間以内に終了し、送り返せるように行っておりますが、時期及び破損の状況によって、それ以上かかる場合がございますので、予めご了承下さい。工場では修理のみで、お問い合わせにつきましてはお答えしておりませんので、予めご了承下さい。

●簡単なセールの修理につきましては、付属のリペアセットをご利用下さい。（下記参照）

※リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落としておきます。シンナーは船体布を痛めますので使用しないで下さい。

※船体布の穴、キズの面積にあわせてリペアクロスをカットします。角を丸めた方がより剥がれにくくなります。

※接着面をサンドペーパーで研磨して荒らします。その後、もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。

※ボンドを船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度（1～2分）乾燥させてから更にもう一度、均一に塗布します。

※手にべとつかない程度乾燥させてから強く貼りあわせます。ゴムハンマー等でたたくとより効果的です。

※接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させて下さい。

※リペアクロスの大きさにあわせてマスキングテープを使用するとボンドがはみだしません。

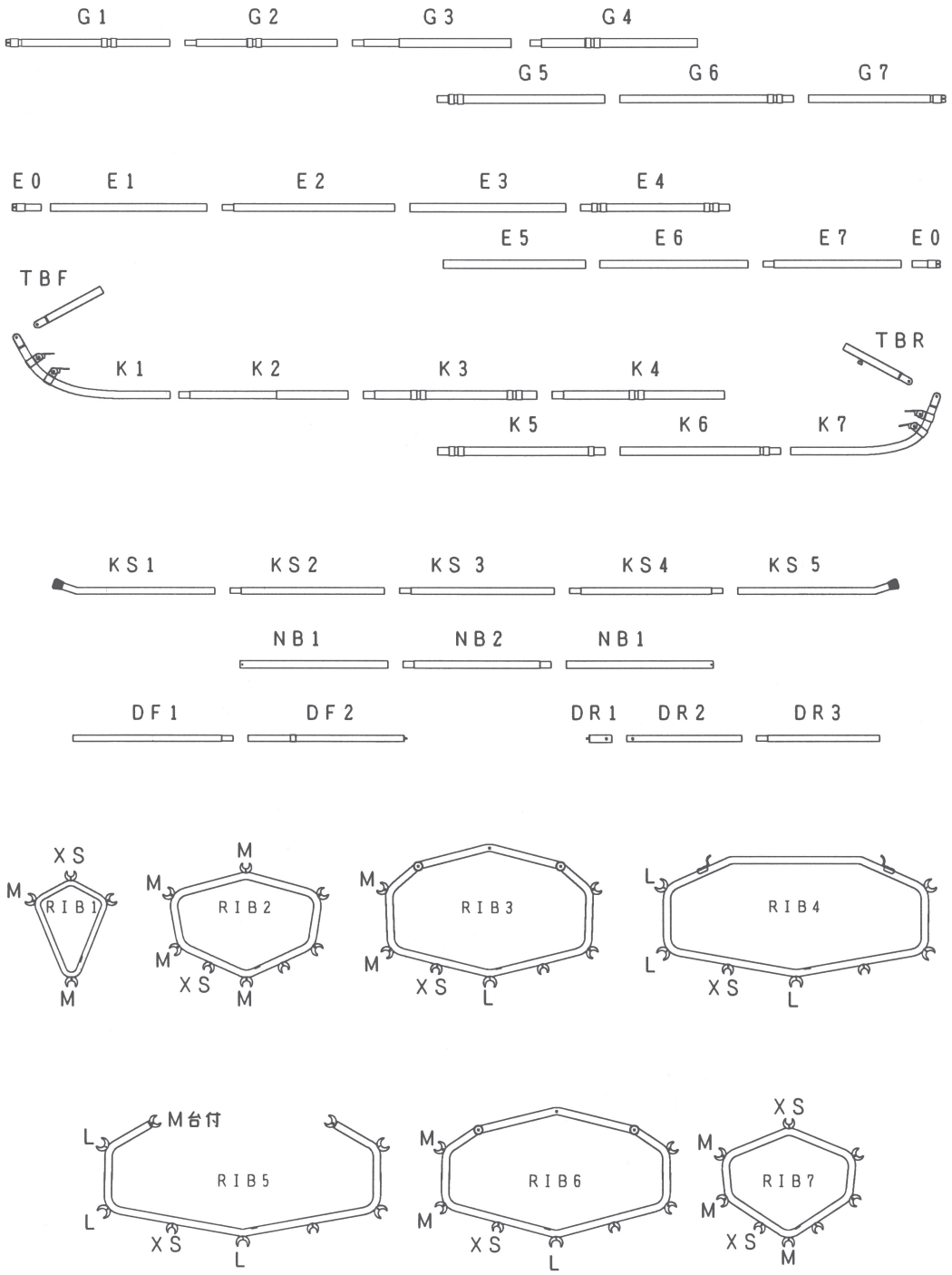
※野外で作業をする場合、船体布の温度の上がらない日陰での作業をお勧めします。

※市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、船体布にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと船体布を痛め、場合によっては修理不可能になる可能性がありますのでご注意下さい。

※フィールドでの応急処置は『プロテクション　1』（別売）を使用し、後日、接着時間がとれる時に補修して下さい。空気中での乾燥時間が一晩以上で効果がでます。

●価格には、消費税及び送料は入っておりませんので、予めご了承下さい。

●価格及び仕様につきましては、予告なしに変更する場合があります。



## ELLSMERE570T